まとめにかえて　―　私たち電子情報通信学会の決意

- 我が国が厳しい制約の中で、先進国トップレベルの高い生活レベルと社会環境を維持・発展させるには、世界に普及する「物・情報・文化」を創造し、世界に提供していくしか道はないことを認識いたします。

- この目標を達成するには電子・情報・通信分野の学術とそのビジネスで世界にプレゼンスを示すことが不可欠であることを認識いたします。

- 上記を遂行するためには、グローバルな競争と協調が必須であり、産学官の緊密な連携と戦略的研究開発が不可欠であることを認識いたします。

- 以上の認識に立ち、本学会は世界に一層貢献できるICTイノベーションをめざして、所属機関や専門の壁を越えて交流・研鑽し、研究開発とそのビジネス化において相乗効果を挙げる場を提供し、その活動をサポートします。

- ICT国際競争力の強化には高いレベルの人材確保が必要であり、個々人のキャリア開拓に学会が最大限貢献することが重要なミッションと認識し、小中高生から大学生、そして社会人に対する継続的な育成活動によりグローバル人材の育成に努めます。

- 今後の研究開発は社会との関係を抜きにはあり得ないことを認識し、社会的課題を学会として把握し、学術的見識から将来の方向性について社会に提言を行うとともに、その基礎となる制度や法律面の課題についても産官学で議論する場を提供します。

- ICTのグローバルな展開が必要な時代にあたり、まずアジアへの学術面での貢献と地域の核となる学会をめざします。

- 以上の施策を具体化し速やかに実行に移すことによって学会の産業界への貢献を拡大します。